

地域連携活動報告書

no. 1

活 動 名	地域連携 LAST TEXTILE FES(ラストテキスタイルフェス)		
実 施 団 体	テキスタイル系・軽音部	参加生徒数	30名
実 施 日 時	平成29年2月4日(土)～2月11日(土)		
場 所	泉佐野市栄町内会館・オオサカ家ベーカリー跡・栄町の空き地・栄町のお店(5店舗)		
住 所	泉佐野市栄町		
<p>泉佐野市栄町を舞台に、テキスタイル系の最後を記念したイベントを開催した。</p> <p>--- この企画は、栄街区まちづくり研究会が一般に募集した『さかえまちあきやワイワイ空き家活用提案』に応募しスタートする。当初、オオサカ家ベーカリーという元パン屋の空き店舗のみを使用し、展覧会をメインに捉えた企画案を提出する。栄町町会会議にて、オオサカ家ベーカリー以外にも栄町会館、栄町空き地も利用できるとの提案を受け『ラストテキスタイルフェス』を構想。結果、展覧会だけでなく町会館では軽音部による音楽ライブ、空き地ではインスタレーション(空間芸術)を制作し、ダンスパフォーマンス等のショー、オオサカ家ベーカリーでは作品展示とワークショップを行う一連のイベントとなる。---</p> <p>2月4日～2月10日まで『栄町ギャラリー』と『オオサカ家ベーカリー・ショーウィンドーギャラリー』を開催。『栄町ギャラリー』では、栄町の飲食店やお菓子屋等、5店舗にご協力いただき、店内スペースに課題研究染色デザイン班の作品を展示する。『オオサカ家ベーカリー・ショーウィンドーギャラリー』では、パン屋の陳列棚や、パンを運ぶトレイを活用し作品をディスプレイして、ガラス越しに作品を見て頂いた。数日ごとに作品を入れ替え、前を通過する人の興味を引く工夫を行った。</p> <p>2月11日、イベントのメインを飾る『ラストテキスタイルフェス』当日。雨や雪の天気が続く中で、寒さは残るものの天候に恵まれた。栄町の空き地にはテキスタイル系3年生が中心となって結成されたデコレーションズによるインスタレーション作品を設置。前日から制作されたこの作品は、カラフルで賑やかな演出で会場を盛り上げた。同じ場所で男女グループによるダンスパフォーマンスからイベントはスタートした。オオサカ家ベーカリーでは、作品展示と無料のオリジナル缶バッジづくりのワークショップ、課題研究グラフィックデザイン班によるアニメーションの上映を行う。11:00より町会館にて軽音部による音楽ライブ開始。軽音部員からはじまり、テキスタイル系軽音部OB・OGによるライブ、スペシャルゲストとして近くでお好み焼き屋を営みながらライブ活動をされているSパラのさっちゃん(さん)がオリジナルソングを披露する。町会館でのライブが終了して、間もなく空き地にてダンスパフォーマンスを再演。14:00、町会館の音楽ライブ2部が行われ、ラストは男子生徒1名によるダンスパフォーマンスが飾った。イベントのフィナーレで、全員で中島みゆきの『糸』を歌い幕を閉じる。</p> <p>テキスタイル系在校生、卒業生、栄町や近隣住民の方々、たくさんの人が関わるイベントとなり、企画から当日に至るまであらゆる準備の中で多くの人の協力によって無事に終えることができた。『オオサカ家ベーカリー・ショーウィンドーギャラリー』では展示を行うにあたり、そうじすることから準備を始めた。デコレーションズの大掛かりな装飾のため、永遠に続くかと思うような膨大な作業をやり遂げた。どちらも、学年末考査を終えた3年生が率先して取り組んでくれた。町会館での音楽ライブは、音響設備からタイムスケジュール管理まで、全面的な軽音部の協力によって実現した。町会長とは小さな打ち合わせを何度も繰り返した。準備をする過程で様々な思い出をつくることができた。それぞれの役割でたくさんのことを準備した結果が順調に本番へと実を結び、当日は想定以上の成功だったように思い返す。イベント後、たくさんの準備を手伝ってくれた生徒に「ほんまに楽しかった、参加して良かった、準備が楽しかった」という言葉をもらった。大変だった準備作業を共に積み重ねた生徒からその言葉を聞いたことが嬉しかった。テキスタイル系の最後の年に思い出深いイベントが出来たことは、次へ向かうステップとしても本当に良かったと思う。今回は第一回目、次は産業創造系として、また次の企画へと繋げてゆきたい。</p>			



オオサカヤをそうじ中



デコレーションズの準備



オオサカヤ展示作業



オオサカヤ展示の様子



栄町ギャラリーの様子



大看板の運ぶ途中



インスタレーション準備



町会館にて軽首部ライブ



広場にて、装飾の中でダンス



インタビュー受け答え